Kadokawa Comics A
ロードス島戦記
—英雄騎士伝—
RECORD OF LODOSS WAR
1
原作◆水野 良 作画◆夏元雅人

ISBN4-04-713202-0

C0979 ¥540E

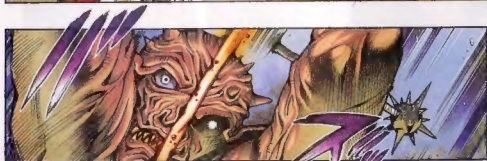
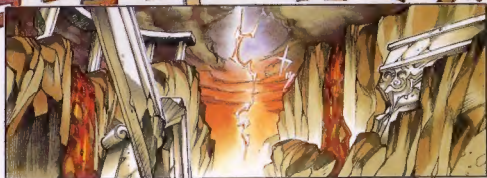
定価：本体540円（税別）角川書店

ロードス島戦記
—英雄騎士伝—
1

RECORD OF LODOSS WAR

原作◆水野 良 作画◆夏元雅人

RYOH MIZUNO & MASATO NATSUMOTO

ゴゴゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴゴゴ

第1話 騎士への新道
我は問う……
汝の名は？
オレの名はスパーク
ゴ

フレイム国の騎士
スパークだ!!
ロードス島戦記
—英雄騎士伝—
1
RECORD OF LODOSS WAR
原作◆水野 良 作画◆夏元雅人
RYOH MIZUNO & MASATO NATSUMOTO

ロードス島戦記
—英雄騎士伝—
1

RECORD OF LODOSS WAR

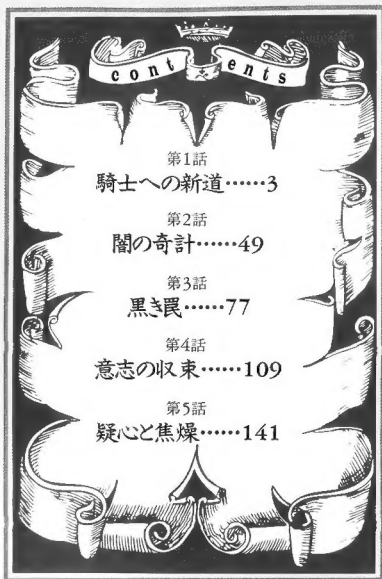
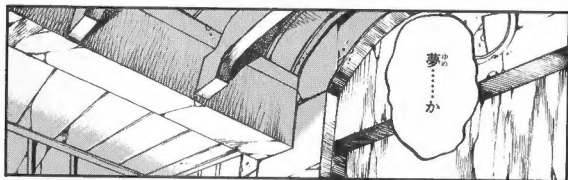
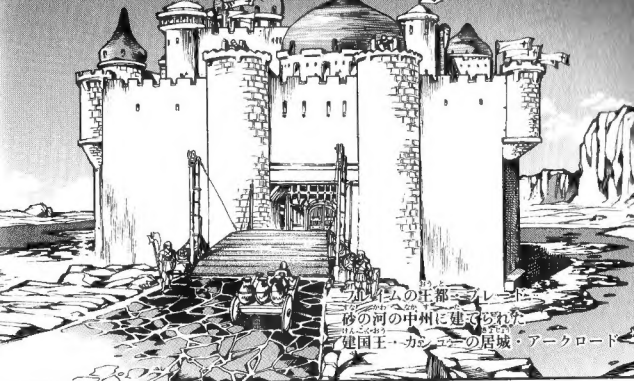
contents

原作◆水野 良 作画◆夏元雅人
RYOH MIZUNO & MASATO NATSUMOTO

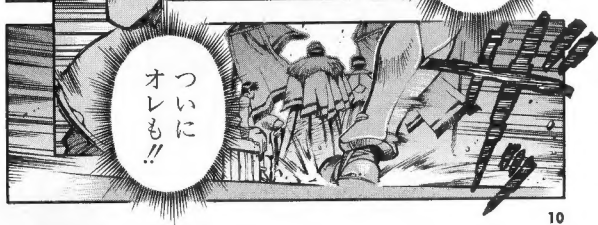
夢……か

フレイムの騎士スパークだ——……か
ははっ
騎士か……
キシ……
あ〜っ

フルイームの王都・ブレード…
砂の河の中州に建てられた
建国王・カシューの居城・アークロード

そう 左手のおさえに集中して
はい 先生
ごめんよ 急いでるんだ どいて!!

スパーク!!
急いでどこへ行くの?
きょうは騎士叙勲の発表なんだ!!
待ってよボクも行くよ!!
すみません先生 きょうはこれで——……

やっとこの日が来たんだ!!
ガッシャ
ガッシャ
適性試験も
馬上槍試合も
問題なかった(はずだ)
ついにオレも!!

騎士になれるんだ!!

これより
発表する者
フレイム王カシューの
名のもとに……

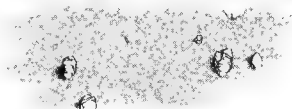
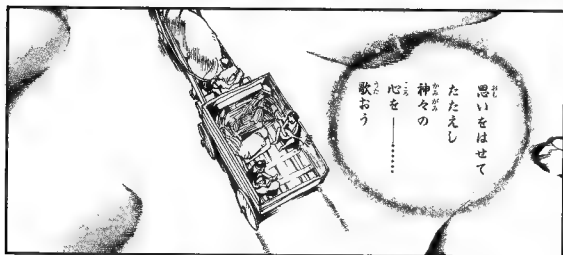
今年こそは
絶対スパークも
選ばれるよ

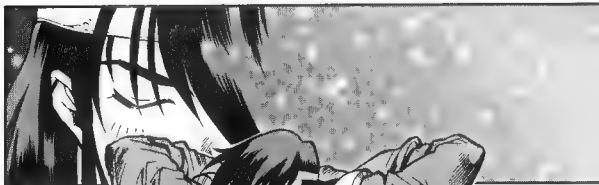
しっ!!

正式に
騎士としての
称号を与える
ものとする

そんな……

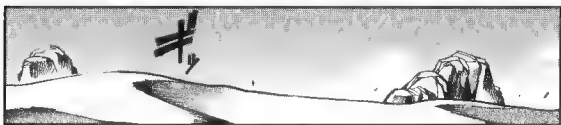
リュートは吟遊詩人の夢を叶えてるっていうのに
ボクだってまだまだだよ スパークこそ来年は……
オレはいつまでも騎士見習いか……
ゴトゴト

うん
すぅ。
いざ
開かれん
ロードスへの
いざないを
思いをはせて
たたえし
神々の
心を――……
歌おう
いざ
開かれん
ロードスへの
扉を――……

アレクラスト大陸の
南に浮かぶ　混沌うずまく島
―ロードス島―――
戦の神マイリーに
魅いられしこの島は
連綿として続く争乱の
歴史を重ねていく
四十数年前の魔神戦争

十五年前に戦われた
英雄戦争
脈々と続くロードス島での
暗澹たる奇禍の歴史は
数多の英雄を生み出した
人々は永遠に語い
語りついでいくだろう
呪われた島〝ロードスの
英雄伝を
……

オレも早く
騎士になって
歌に語られる
英雄になりたいな
大丈夫だよ
スパークには
他の人にはない
何かがあるもの
何かって
なんだよ?

ガガッ
ガガッ
そこの荷馬車止まれェい!!
炎の部族のスパーク卿はおられるか!?

おおっ スパーク卿 お捜ししましたぞ!!

オレが今夜のカシュー王の宴に招かれていると…!?
いかにもです スパーク卿
……ルゼナン伯 オレを卿と呼ばないでください
何をおっしゃる!! あなたは炎の部族の長になろうお方!!
ましてや王位さえも争える身分なのですぞ!!
ささっ こちらへ

王位継承権だって？
そんなモノ　あるわけ
ないじゃないか
宴のみやげ話を
きかせてね～!!
ただオレが炎の部族の
族長の家系で　唯一
生き残っている
男だということだけだ
今のオレは　まだ
騎士見習い……
カシュー王にまだ
お世つぎが
おられぬ今！
次期王位は
炎の部族か
風の部族から
選ばれるはず
そのおりには
このルゼナン
全面的に
スパーク卿
推しますぞ
では
宴の席で

カッ
カッ

これは
スパーク卿
王への謁見
ですね

入口へ
どうぞ

スパーク卿
参られい!!

オレに
順番を
無視させる
つもりか!?

勘弁してください
ルゼナン伯に　私が
処罰を受けます

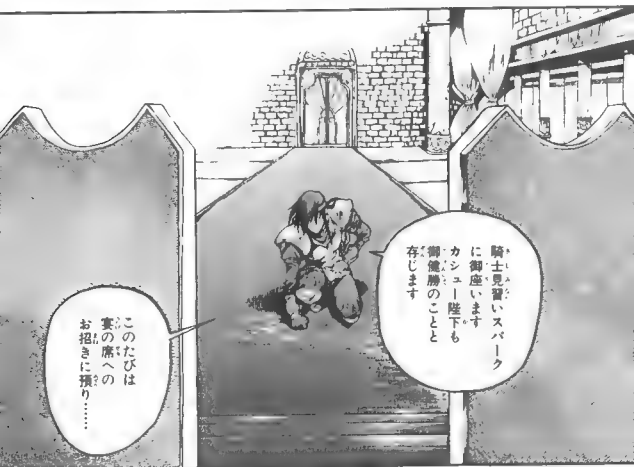
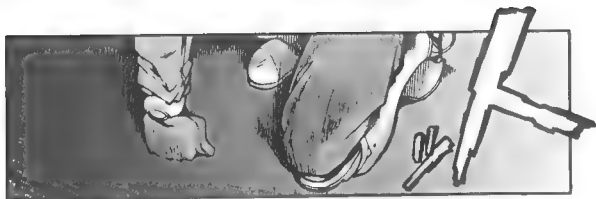
ザッ

騎士見習いスパークに御座います
カシュー陛下も御健勝のことと存じます
このたびは宴の席へのお招きに預り……

すまぬな
わたしは
こっちだ

失礼しました
カシュー陛下!!

久しいな
元気にしていたか？
スパーク

わたしの方の
非礼だ！ 許せ
実は友人が訪ねて
来ていてな

初めまして
お若い騎士殿
わたしは
カノン自由軍の
騎士隊長パーンです

わたしは
ディードリット
よろしくね

あの伝説の
自由騎士パーンと
ハイエルフの
ディードリット!?

英雄戦争での
騎士パーンの
武勲詩にあこがれて
オレは騎士を
目指したんだ!!

伝説の騎士に会えたというのにどうしたんだ……

我が身の卑小さが恥ずかしい……

騎士見習いではなく正騎士として見えたかった……二度とないかもしれない機会なのに

カシュー陛下にいまひとつおたずねしたいことが……

なぜ　わたしはいつまでも騎士見習いなのですか!?

実力では　いつでも騎士としての活躍をご覧にいれます！

それは
炎の部族の
総意としての
陳情か？

いえ……
わたし自身の
判断による……

ならば出過ぎた
考えだぞ!!
騎士見習い
スパーク!!

わたしの決に
不満だとでも
いうのか!?

い…いえ
決して
その様なこと
ではないです

パーンよ
先ほどの若者を
どう見る？

なかなか
利発そうな
若者ですね
血気も盛んだ

わたしの
若いころを
見ているよう
でしたよ

はははっ
なるほど!!

お待ちしておりました
このような殺風景な部屋へようこそ
スレイン!!
パーンにディードも元気そうでなによりです

FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MOSS
MARMO

このロードスの勢力図をぬりかえねばならなくなりました

混沌の源ともいうべき暗黒の島マーモ

この十年ほどマーモとの大きな戦いはありませんが

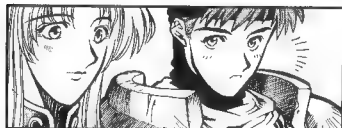
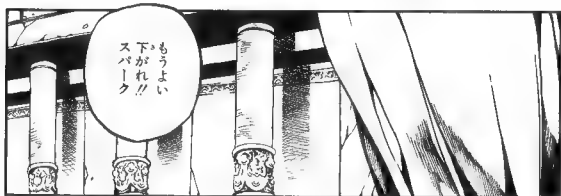
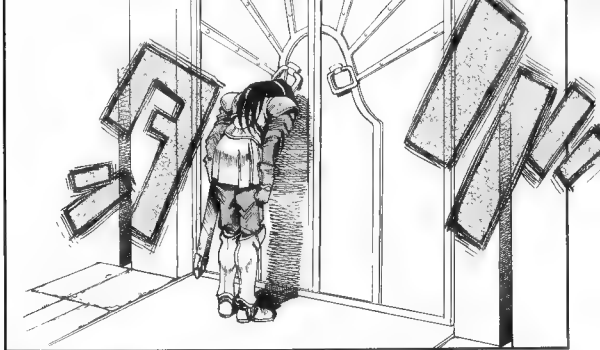
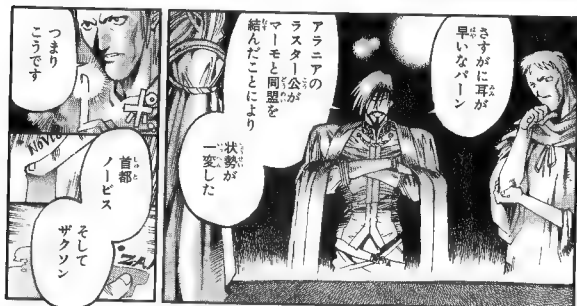
しかし　いまだにマーモとの戦いに終止符を打てずにいる

FLAIM
ALANIA
VALIS
KANON
MARMO

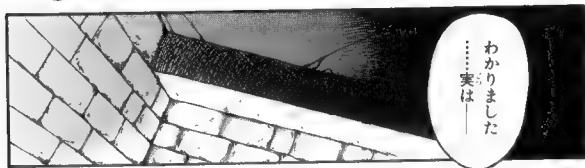
マーモは内側から確実に勢力をのばしています

それとひとつ
気になることが
あるのですが……

?

あっ いや
まだハッキリと
したことでは
ないので……

スレイン──
あなたの勘は
よく当たるから
怖いのよ

はははっ

聞かせて
くれないかしら?

ははは
ディードは
あいかわらず
人気者だな
髪がほつれてるよ
もう 皆
寄ってたかって
髪の毛とかを
抜いていくのよ
城の女官らは
ハイエルフの
美しさの秘密を
知りたいのだ
許してやって
くれ
そんなー
美しいだ
なんてェー
酔ってるだろ

しかし 大事にしすぎるのは時には考えものですよ
次の戦に連れて行かれては?
見習いは連れては行かぬが国の決まりだ
しかし陛下の眼は確かですね
あの若者はよい騎士になれる素質があります

なってもらわなくては
困る
あいつは将来の
フレイムにとって
なくてはならん人物だと
思っておるのだ

あ？　いや
フラついてた
だけなんだ
へへっ
どーも
これは
スパーク卿！
酒を持って来て
くれたんスか？
……宝物庫か
ええ
ついてないスよ
こんな時に
見張り番だ
なんて……
さっきから
何か気配が……
宝物庫の
見張りが
ひとりだなんて
平気なのか？
は？

平気っスよ
なんたって
スレイン先生の
防壁魔法で…
!?

ダークエルフ!!?
チャキ
マーモの手の者か

どうする!? ダークエルフが一人なら オレでも何とかなるんじゃないか?
術で姿を消されるとやっかいだが術を使う前に斬り込めれば……
これは賭けだ!!
勝てば騎士として認められる
ギュッ

ガッ
ギッ
ギッ
はっ
ダン
いける!!
ボッ

ゴ

しまった…!!
くっ……
……

ギッ
ダダッ
宝物庫に賊の侵入だ!!
ダークエルフが宝物庫に…

ズシャ
何という事だ!!
己の力を過信していました……

恐れていた
不安が
ついに……
さっき言って
いた事か……？

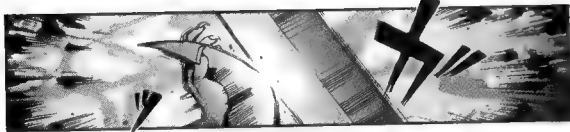
このロードスの
新たなる
災いの始まり……

スパークを
ここに!!
癒しの呪文を
ほどこしては
おきましたが……

スパーク
参りました

申しわけ
ありません
陛下……

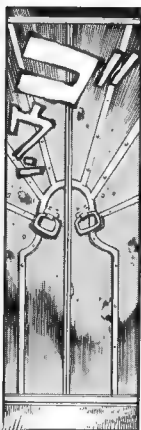
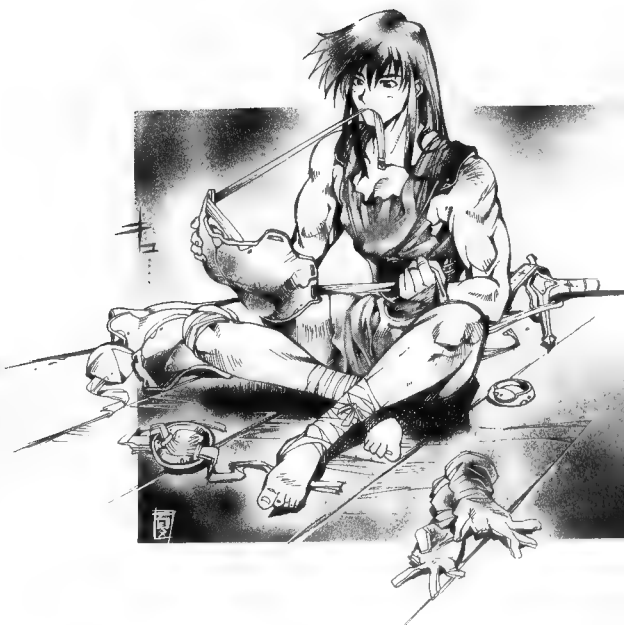
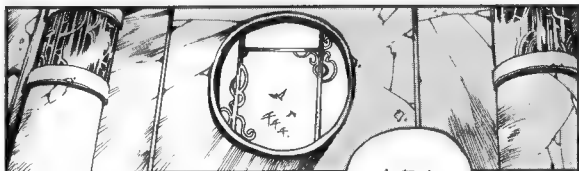
カッ
おろか者が!!
なぜ すぐに賊の
侵入を知らせ
なかった!?

自分の手柄に……
したかったからです
いかなる
処罰も受ける
覚悟です

ならば
騎士見習い
スパークに命じる
賊を追跡し
奪われた宝物を
奪還のこと!!
汚名返上の
機会をいただけ
るんですか!?
喜ぶなスパーク!!
任務達成までは
王城の門をくぐれる
とは思うなよ!!
はい!!
一命に
代えましても!!

ゴウッ
これで良いのだな？パーン
良くも悪くも戦いは人を変えます
……
……
きっと何か得るところがあるはずです

第2話
闇の奇計

復活だ…
ボッ
復活…

ゴボ
復活するのだ……
負の生命を司る――
破壊の女神よ!!

チチチ
大きな戦が起こるらしいぞ
ついにマーモとの最終決戦になるらしい
ここ十年まともな戦がなかったからもう争いは終わったのかと思っていたよ
バカだな昨夜の賊はマーモの手の者だって話だぜ
本当か？

警備の者は何をやっていたんだ!?

そいつはこのフレイムのいい面汚しだな

静かに!!
待機中の騎士諸君に配置指示を出す!!

北の砦—は
騎士ファルスは西の砦へ
騎士ボーヌと騎士ダグラルは東の砦——……
それから……

……
……

賊は他の宝物にはまるで手をつけていない
アレだけを盗んでいった……

賊のダークエルフの中には　かなりの実力の魔術師がいるようですね
スレイン導師!!

賊の目的は……やはり……

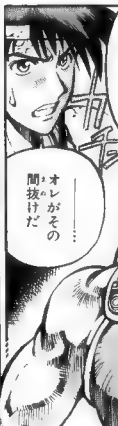
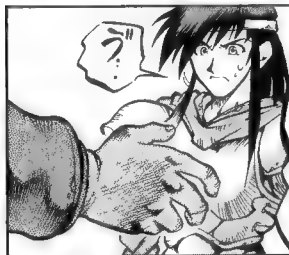
宝物管理の責任者として面目ないです……
防壁魔法をかけたのは私
アルド・ノーバ君に責任は無いです

ええ……これではっきりしました
!?

賊はあきらかに『魂の水晶球』の秘めたる災いの力を知る上で盗んだのです

いったい何者がそのような愚かな行為を――…!?

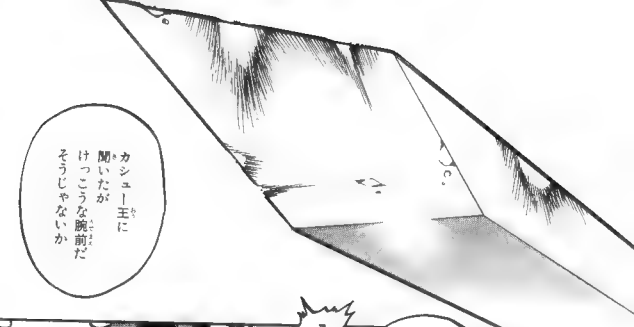
ポロッン
ま……待ってくれ!!
オレは!?
王より直々に賊の追跡の命令を受けて…
スパーク卿はまだ詰所にて待機と…
冗談じゃない!! こうしてる間にも賊は遠くへ逃げているんだぞ
お取り込み中に悪いが ここにスパークって間抜け野郎はいるかい?
ゲホゲホ

賊を取り逃がしたっていう騎士見習いの間抜け野郎さ
――……
オレがその間抜けだ
オレは見ての通り傭兵だ
そんでもって今日からあんたがオレの隊長ってわけ
ザッ
よろしくな
う゛‥

へっ
く……
よ・ろ・し・く
隊長さん!!
どーいう事だ!?
あんた
何者だ!?
オレの名は
ギャラック
この頬のキズを見て
〝蒼く流れる星〟って
呼ぶ奴もいるがな
何よ
ギャラックと
いっしょなの?
こりゃまともな
任務じゃないわね
タッ

何でェ
おまえとまた
いっしょか？
その人が
新しい隊長さん？
あたしはリーフ
見ての通りの
ハーフエルフの
傭兵よ
よろしくね
待って
くれ!!
いったい
どうなって
るんだ!?
ここに
スパークは
いるかな

…………
す……
すまない
取り込み中だったかな？
またか!!
次から次へと
今度はだれだ!?
!!?
自由騎士
パーン
失礼しました!!
あせる気持ちは
わかるが　大事な
任務ゆえに準備も
大切だぞ
はい!!

あの
ところで私に
何用が……？
ここだ
ここは……

ガチャ
鍛えの間……
ここでいったい何を…?
これを使え!!スパーク
え?
パッ
あ…あの!?

――鍛えの間に来て話し合いもないだろう ちょっと手合わせをしたいと思ったんだ
!!!
チャキ

カシュー王に聞いたがけっこうな腕前だそうじゃないか
それともオレじゃあ不足かな?
そ……そんなこと!!
過分なくらいです
伝説の自由騎士パーンと剣をまじえるなんて
夢を見てるようだ!!

剣を合わせたら油断するな
これが刃を削った練習用の剣でも実戦のつもりで戦え!!
はいっ
あまい!!
ただ前に出れば敵を倒せるわけじゃないぞ!!
はい
それでは踏み込みが浅い!!
はい

相手の動きを
読め!!
追いつめるための
攻撃の組み立てを
忘れるな!!
そして
相手の隙をつけ!
無ければ隙が
できるまで戦え!!
はぁ
はぁ
はぁ
はいっ
さすがは
カシュー王の
選んだ若者だ
スジがいい……
建国当時の
この国を
見て回って
いた時だ……

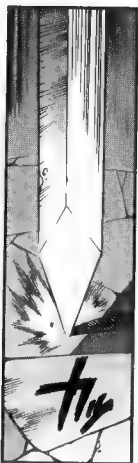
私の乗る馬が迷いゴブリンに驚き

暴走してしまった時があってな

陛下!!

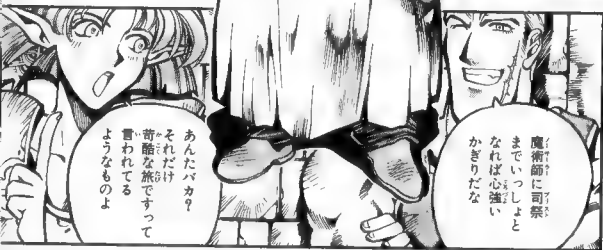
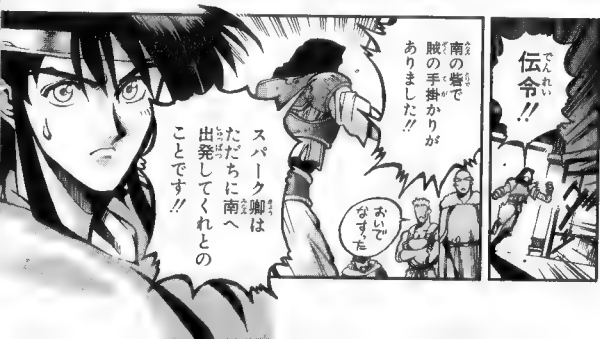
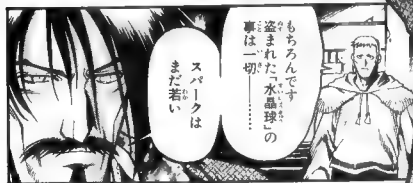
ザッ
どうっ
どうっ
!!…
その少年の
瞳の力強さに
馬も私も
気圧された

ブヒュルルン
どう
ようし
いい子だ
名は?
スパーク

カシュー王の任務を無事果たせよ
はい!!
昨晩のように己がなすべき任務を忘れ失態をさらすなど二度とは繰り返しません!!
カッ
いや……
それも困るな
困る……?
自分を捨てるなということさ
与えられた任務をただ果たすだけの男にはなるなよ

今はわからなくてもいずれはわかる時がくる
与えられた任務を果たすだけの男になるな——か

大将またまた来てるぜ
?

ヌッ
わっ
この度宝物奪還のお手伝いを買って出ました魔術師のアルド・ノーバです
よろしく頼みますスパーク卿
あ…いやこちらこそ
大男だな…

ちょっとどいてくれ
ワシも行かせてもらう
グリーバス司祭まで!?
魔術師に司祭までいっしょとなれば心強いかぎりだな
あんたバカ? それだけ苛酷な旅ですって言われてるようなものよ
伝令!!
南の砦で賊の手掛かりがありました!!
スパーク卿はただちに南へ出発してくれとのことです!!
おいでなすった

スパークには
あの事を
知らせずに
出発させた
ろうな

もちろんです
盗まれた「水晶球」の
事は一切――……

スパークは
まだ若い

よもや自分の
追っているものが
ロードスの未来を
左右するなどと

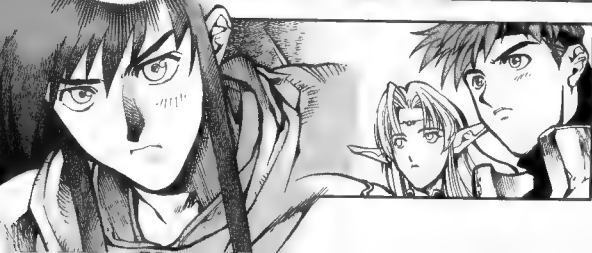
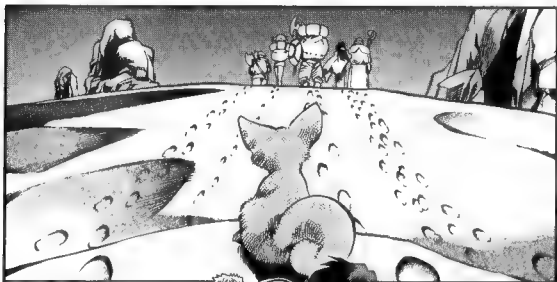
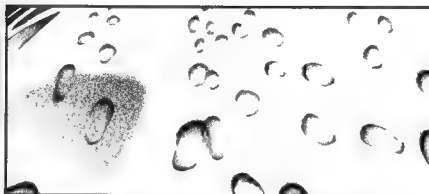
知っていては
行動の足かせに
なる

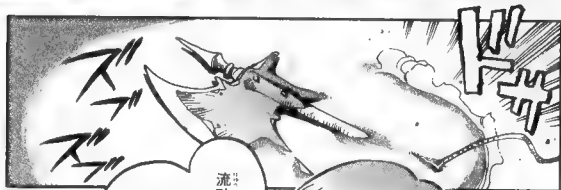
ついに
ロードスは
再び動き始めた
ザッ
新たなる
ロードスの
未来へと!!

やっぱり6人いるよ

変だな…？

第3話 黒き罠

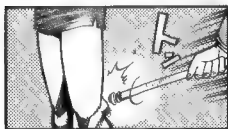
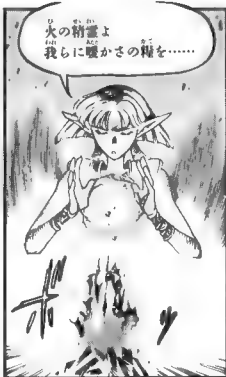
くん
くん
ザッ
ザッ

オオオオオオ
盗まれた祭器を取り戻し
必ず汚名をはらしてやる
大将 そろそろ休みましょうや こう歩きづめだと身がもたねェ

日がのぼる前に
この砂漠を越えないと
日干しになるんだぞ
ギャラック
なんで川ぞいの街道を
使わないんスか？
あっちなら
馬も使えるし
……
ちょっとは
・・・
ココを
使いなさいよ
南の砦へ行くには
街道を馬で
行くより
砂漠を
突っきる方が
早いのよ
そういう
事だ

せめて荷馬車ぐらい 乗せてくれても……
サク!!
待て!! アルド・ノーバ
ドサ
ズブズブ
流砂だ
夜の荷馬車の砂漠越えは こいつがやっかいでな
近頃の傭兵はそんな事も知らんのか?

……ここは流砂だまりのようだな
さすがにドワーフは夜目がきくんスね
オレにはみえねー

スパーク卿皆も疲れているようす
ここらで休みを入れますか？
しかし……
あ…
あたしは疲れてなんかないわよ
何言ってやがる
トン

足が棒のようになってたろ
あっ
ガクッ

大将！
こんなんじゃ
いざって時に
役に立ちませんぜ

わかったよ!!

司祭ほどの高位の方が
なぜ私について来て
いただけたのですか？

……

おまえさんは
賊を前にした時
どうした？

敵から逃れるため
剣さえも捨てる
——
これはひとつの
勇気では
ないか——と

ではスパーク
実は 気になって
いる事が……
気になる
……とは？
うむ
城からずっと
何者かの気配が
していなかったか？

…………
…………
そう言われると
そんな気が……

今考えると
我々全員に
「後ろを見るな」
という
強制思念が働いて
いた気がする……
魔術
ですか!?
わからぬ
今は何の
気配もない
あるいは
気のせい
だったのかも
しれん

あちちっ
茶でもどうです？大将
ああもらおうか
ところで賊に追いついた時の事なんスけど 何か策でもあるんスか？
なんたって賊は5人ものダークエルフだ
何かあるんでしょとっておきの策が！
ヒョイ
策なんてないよ
死ぬ気でやればなんとかなるサ
はぁ!?
……
だー

あんたの癒しの呪文だけがたよりっスよ

おかしな事を聞く奴だな

ところでサ
賊に盗まれたって
いうお宝って
何なの？

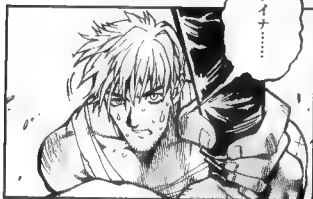
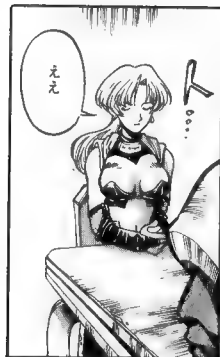
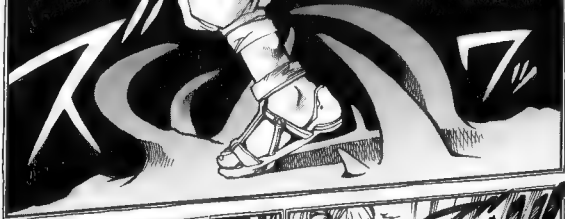
さあ もう出発するぞ!!

南の砦だ！
──てことは砂漠を
抜けたって事だ
良かったァ
全身 砂だらけよ

スパークと他4名！賊の討伐隊だ!!
ザッ

ヒュオオオオオ
お待ちしてました!!
こちらへ!!

賊の手掛かりとは？
賊らしき者共を見たという二人組がおりまして……
その者たちはフレイムの住人ではないのですが……
城からの使者が話を聞きたいという事だ！来てくれ

ライナ……
わかってるって！ランディ
あたしたちが盗賊ギルドでフレイムに盗みに来たなんて話したらそくコレもんでしょ！うまくゴマかすわよ
あなたはここで休んでて

あの……ここに行けって言われて……
私はフレイムの騎士見習いスパークです
あたしはライナ
相棒と一緒にフレイムに傭兵志願で来たんです
あなたが目撃した連中の話を聞かせてください
その前に――
今相棒がそいつらにやられてケガをしてて……
チラ
…
ここには癒しの呪文を使える者がいないんです
ワシにできる事があれば手を貸そう

聞かせてもらえますね
ええ

昨日の昼すぎぐらいかな……
この近くの川ぞいでいきなり出くわしたんです
5人のダークエルフに!!

やっぱり!!

水中で行動できる奴らは 砂漠を迂回して 川を南下したんだ!!

ダークエルフは森の妖精だから砂漠越えはつらいハズなのよ

ズワッ
ズザ
ぐあっ
ランディ!!?
キュ
な……
何だ
こいつは!?

わっ

どれ 傷口を出しなさい

!?

……これは何だ!?

そんな事 知らないわ
ランディがやられた後
ダークエルフは消えたのよ

それが
あやしいって
言って……

!!?

!!!

パラ
パラ

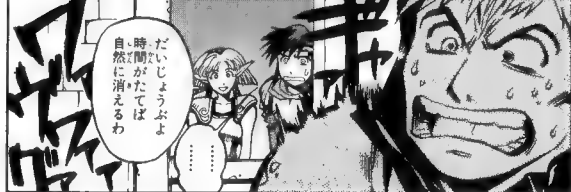
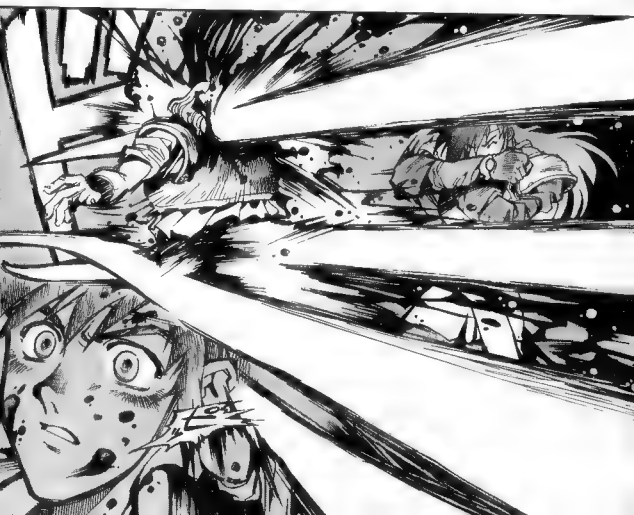
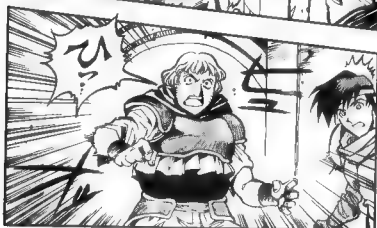
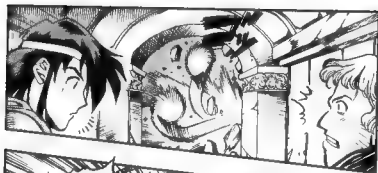
何が起きた!?
わかりません!!
ひっ…

隊長!!!

ゴゴオォ
なっ……
何だよ
こいつは!?

ゴモモモ
こ……これは!?

ダッ
ランディ!!
待てっ!!
ダッ
キュオッ
司祭!!?
退くのだ!!
スパーク

ゴガッ

何ですこいつは!?

知らん!! ワシも初めて見る怪物だ!!

だが賊のワナにはめられたのは間違いない!!

罠!?

第4話 意志の収束

てっ……敵襲っ!!
敵だとっ!?
……何だ
こいつは
…
うわあぁぁ

ビク
ビク
グリーバス司祭
御自分の鉾槍は？
あの場から
持ち出せ
なかった
いきなり
襲われたのでな
しょっぱなから
とんでもない
怪物と当たっち
まいやしたね
ギャラック!!
リーフ!!
アルドも無事
だったか!!

ゴッ
ランディは……!?
あたしの相棒は……
すでに怪物の宿主と化している
……もはや助けることは出来ぬかもしれん
ピクッ ピクッ

そんな……
何とかならないんですか!?

寄生する種の怪物を相手にするのは初めてなのだが……

怪物の活動を止めるということは……
宿主の命を絶つということだ!!

わぁっ
まっ……
魔力の根源たる
マナに…
おいて……
あ…おぉ、

どけっ!!

わ……
わたしは…

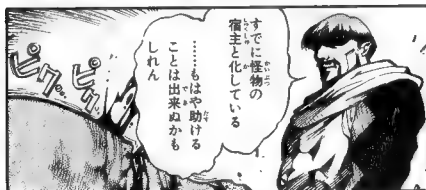
あの……

敵を前にして
腰が引けるん
だったら
下がってて
くださいや!!

待て
ギャラック!
オレ達は仲間
なんだぞ
全員で力を
合わせるんだ

戦いを司る
偉大なる神
マイリーよ

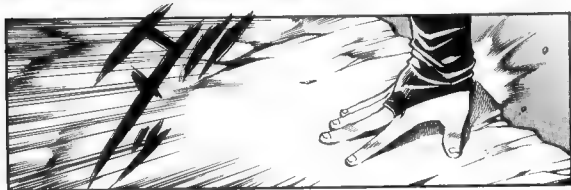
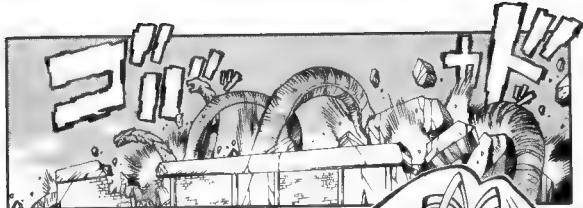
ここに勇者集い
戦いに臨まん

我らに加護あれ
鉄の意志と炎の勇気を
与えたまえ……

宿主の命を
絶つという
ことだ!
ドッ
行くぞ!!

この!!
ズッ!!
陣を組んでいっきに中心へ向かうんだ!!
アルドは魔術で怪物の動きを押さえてくれ!!
グリーバス司祭は後方からの攻撃を防いでください
そしてギャラックとリーフは道を斬り開く!
そこからオレが突入する!!

緒戦の指揮にしちゃあ上出来っスよ
茶化すな！来るぞ!!

ゴゴゴ
ドドド
ズズ
ズズ
……
おいあんた!!
頭をひくくしてろって!!
ドキ
はっ!!!
ダッ

ランディ!!
魔力の根源たるマナよ!!
光の刃となりて
我が敵を射ぬかん!!

フレイムの傭兵の力をなめるなよ!!
炎の精霊よ!!
敵の内なる体に業火の戒めを!!

いまだっ!!
!!?

カヒュウゥ
カヒュウゥ
まだ生きている……

ドンッ
ドンッ
出来るのか？
スパーク
チキッ
オレに
この人の命を
絶つことが……
!?

待てよ!
おい!!
ランディ!!
ビクッ

ズバ
ジャイィン
しまった!!
ザッ
この!!
ランディ!!
よせっ!!
もう意識は
ねえよ!!

やばっ!!

魔力の根源たる
マナよ!!

火球となりて
敵を滅せよ!!

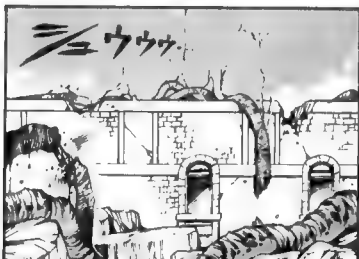
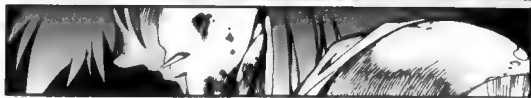
司祭（しさい）の鉾槍（ハルバード）!!

ああ
あああ

シュウウウ…

ガサ
まるで植物みたい……
おそらくはマーモの森で魔力によって育てられた魔樹だろう

宿主に潜み回復魔法をきっかけにいっきに繁殖するよう仕掛けられていた……
ダークエルフらしいいやらしい手だ

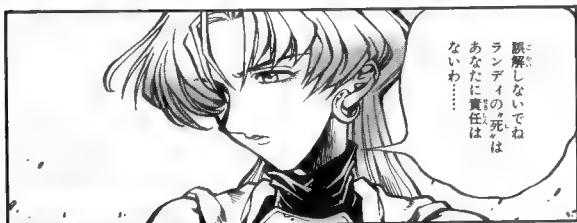
ザッ
RANDY

あの……ライナさん
我々は先を急ぎます……ので

フレイムの傭兵志願でしたよね？スパークの紹介と言えばすぐにでも……

私も連れて行って……

え？

あなたには
私を連れて行く
義務があるわ!!

……
……

このロードスで
生きるつらさは
ランディもよく
知っていたわ
彼の〃死〃は 彼自身が
いつも覚悟していたこと
キュ…
……
ギュ…
え？
あ…の…
見ないで!!

え……っと
あの……

あ……女の人の髪って……
甘い香りが……
──って違うだろ!!
何考えてんだこんな時に──……!!
ぶんぶん
ドッドッドッ
落ちつけ！落ちつくんだ!!
ドクンドクッ
心臓鳴り止め!!聞かれるだろ!!
あ〜〜〜オホン！

大将！食糧庫は無事だったから調達できたが
馬は一頭しか残ってなかったスよ
そ……そうか!!

賊は南下してヒルトの街の方へ向かったハズだ
砦の兵に その馬でヒルト太守へ網を張ってもらうよう進言させよう

んで？これからの行動は？

………
？
いや……

大将の戦い方は一直線でなんか…こう危なっかしいんだが……

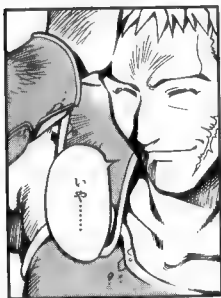
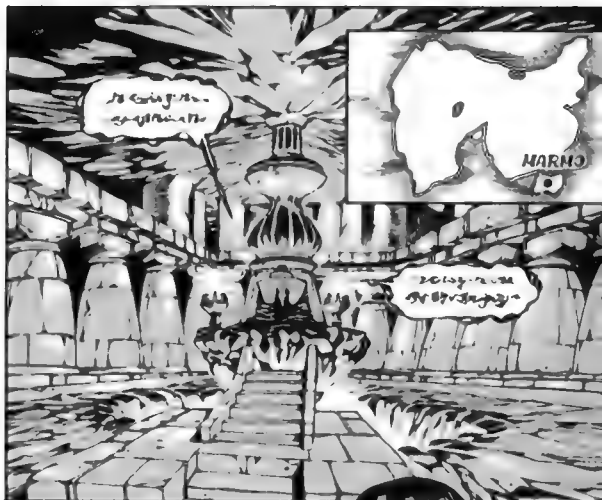
!!!

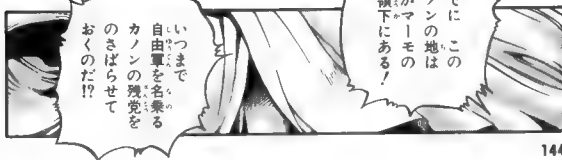
ムッ

これがオレだ悪かったな

傭兵にとっていい隊長に就けるってのはツイてるってことよね
死と隣り合わせの幸運か……
へへっゾクゾクしてくるぜ
何よそれ？
よ――しいっきに賊を追いつめるぞ!!
出発だ!!

第5話
疑心と焦燥

MARMO
……
マーモ評議会の
お2人が　ここへ
何用かな?

ベルド陛下亡き後
マーモの執政は
アシュラムを含め
我ら4人の
決が必要だと
いうことを
忘れたわけ
ではあるまい
ふっ
ショーデルに
ルゼーブ……
こんな所まで
ご苦労なことだ
では 聞かせて
もらおうか
バグナード
城下のこの空洞で
行う その怪しげな
儀式についてだ
これらすべては
ベルド陛下悲願の
ロードス統一のためと
理解していただこう
ははは
チッ
奴め いったい
何を考えて
おるのか……
くえぬ男よ

間もなくだ！
すべては邪神カーディスの復活と共に……!!
KANON
すでに　このカノンの地は我がマーモの占領下にある！
いつまで自由軍を名乗るカノンの残党をのさばらせておくのだ!?

将軍！
遠征隊が
戻りました

アダンの街……
落として
まいりました

たった2日で……
あのアダンを落とすとは……
ご苦労だったピロテース
光栄ですアシュラム陛下

リーフ
ヒルトの街までは
あとどれくらいだ?
あと
半刻って
ところね

その地図
古いわよ
新しい街道が
ここに…
えー!
うそ!?
それじゃあ
こう行けるんだ!?

……
……

あんな素性の
知れない女を
何で
連れて行くんスか?

ライナさんは仲間の敵討ちのためについて来てるんだぞ
同じ敵を追ってるんだ 助け合って当然だろ
かー… 大将はお人好しっスよ

何者かが近づいて来ている……
剣をお納めください！ヒルトの使いの者です!!

ぜひヒルトへ
おこしください
ランデル太守が
お待ちです
HIRUTO
ザッ
ザッ
……
カッ
ギッ

何か街中がせわしいね
ああ……そうだな
……
戦支度か……
ザザ
騎士見習いスパーク
賊討伐の命を受けております
ザッ
ヒルト太守のランデルだ
話は聞いている

報告によると
ヒルトの兵が南で
ダークエルフの一団に
襲われたらしい
つい先ほど
受けた報だ

わかりました!
すぐ出発し
賊を追います
トン
トン
ヒルトも
全面的に
おまえ達に
協力する
……と
言いたいの
だが……

……
街中の
この様子は
何ごとですか?

何だ 聞いて
いなかったのか?
ついにカシュー王が
フレイム全軍への
出陣命令を出した
ガッ
このヒルトからも
騎士100 兵士500ほどが
出陣する

カシュー王自らが
指揮する第一陣は
すでにアラニアへ
出発したとのことだ
!!!

ついに
マーモとの
決戦が……

なのに……
なのにオレは
こんな大事な時に
いったい何を
しているんだ!!

……
……

ワシも
英雄戦争の
おりには
カシュー王の側近
として　マーモとの
激戦を繰り返して
来たというのに……

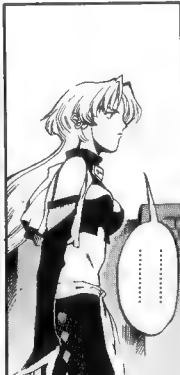
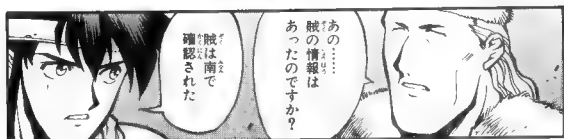
戦に行けぬと
知っていたら
太守など絶対に
引き受けなかったぞ

太守……

ワシにも
おまえにも
与えられた任務と
いうものがある

それを
遂行するのも
また戦いなのだ

オレも参加したいぜ
戦での活躍が傭兵唯一の出世方法だしね
うるさいぞギャラック！リーフ!!

…………
何か引っかからない？
え!?
何だっていいんだよ早いとこ賊を捕えてこの任務を終わらせちまおうぜ

ザッ
ザッ
騎士として活躍することもできず……
オレはいったい何を……
いや！しっかりしろスパーク!! これも任務なんだぞ!!

「与えられた任務を
ただ果たすだけの
男にはなるなよ」
わからない
……
オレは
どうしたら
いいんです
自由騎士パーン!?
出発だ!!
ホラ あんたが
変なこと言うから
怒っちゃってる……
そ……
そうかな?
スパーク
あなたは
知らないだけ
なのです
この任務が
どれだけ重大な
ことなのかを……
ガラン
ガラン

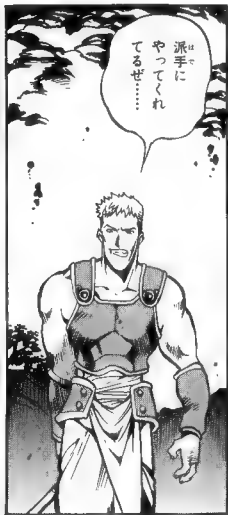
ならばそれをスパークに知らせれば……
ロードスの未来の一端を あなたが担っていることを……
……いや！それはできない!!
今は まだ盗まれた祭器を取り戻すことだけを考えていた方がいい
彼は若いのだ その恐ろしい真実を 知ってしまったら……

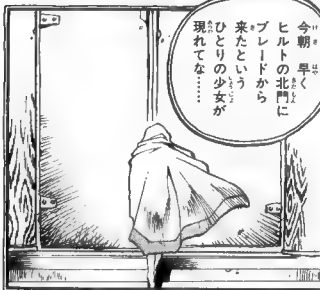
ゴオオオオオ

派手にやってくれてるぜ……

気にならない?
さっきから何だよ?

盗賊は普通こんな派手に逃げ回ったりしないものよ

奴らも必死なんだろ
ゴオオオオォ…

おそらく
ダークエルフの
足跡だな
それも新しい……
そう遠くへはまだ
行っていないな……
すぐ
追いましょう
待て
スパーク
これを
見ろ！
女モノの
小さな足跡も
あるぞ
どうにも
賊のあとを
追っているもの
としか思えぬな

そういえば ヒルト太守が……
面白い情報……ですか？
うむ
今朝早く ヒルトの北門に ブレードから 来たという ひとりの少女が 現れてな……
巡礼の神官らしく 白いフードを かぶった少女で
どこといって おかしな点も なかったので 通したらしいんだが……
そっ……その少女は 何者でした!?
何と言って ましたっ!?

名は!?
いや……そこまでは聞かなかったということだ
?
まさか？そんな……あの方が……まさか!?

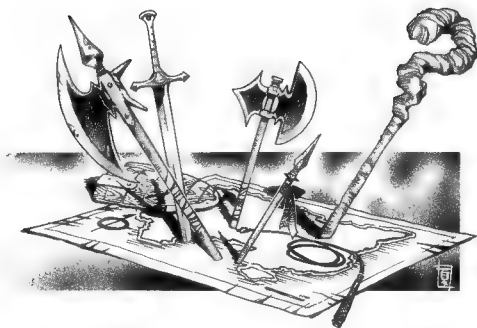
で？その少女がどうしたのだ？
門番に旅の理由をたずねられ少女はこう答えたそうです

『神に導かれ黒い悪夢を追って……』

神に……導かれ
黒い悪夢を追って……
黒い悪夢!!
つまりダークエルフのことだ!!
オレ達以外に賊を追っている者がいるというのか!?
だとしたらそれはいったい……

STAFF
N. NATSUMI
KOKIAIRIN
MATSUNAE URARA
ORIBA SEKIROU
EDITOR
Y. NONOGUCHI
Y. MORIYA
君は一体——！
私の名は…
『ロードス島奮戦記』あとがき編
—というワケで
多々反省を残しつつ—とうとう出ました『ロードス』一巻!!
本格ファンタジーということを忘れるな!!
もっと表を出す!!
服装のチェックを…
キャラをさらにたたせてドラマをもり上げる
反省大あり!!
うがぁ!!
…ってあとがきになってないかコレ。
to be NEXT…

（ロードスへの道）

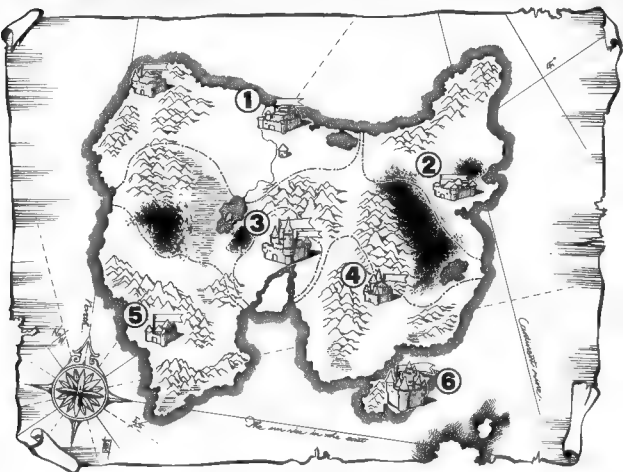
Road to Lodoss

『ロードスへの道』特別編集版

ロードスの世界をもっと知りたいと思ったキミ。
次のページからは、ロードスに関するいろんな
設定が載ってるぞ。これを読んでから、もう一度
マンガを読めば面白さ倍増マチガイなし！

＊これは、雑誌連載時の記事を特別に編集したものです。　イラスト／夏元雅人

ロードス島マップ

スパークたちが生きるロードスの世界は、どのような国々で成り立っているのか。それぞれの国の分布図をもとに、その概要について解説しよう。

（ロードスへの道）

①フレイム王国
建国王カシューが治めるロードス最強の国。風の部族と炎の部族の長きにわたる戦いをカシューが平定した。スパークは炎の部族の直系である。

②アラニア国
ラスター公爵が治めるロードス最古の国。先王カドモスⅦ世を暗殺し、国王となったラスターは非情な野心家である。

③神聖王国ヴァリス
神官王エトが治める王国。エト王はパーンやディードリットたちと英雄戦争時の仲間であり、パーンとは幼なじみでもある。

④カノン王国
現在は、マーモ帝国の黒衣の将軍アシュラムが支配している。自由騎士パーン率いるカノン自由軍が局地戦を展開している。

⑤モス公国
ジェスター公が統治している公国。モス公国自体は1つの国家ではなく、いくつかの小国が群立している連合国家である。この小国同士は、「竜の盟約」と呼ばれる条約によって結ばれており、外敵に対しては一致団結して戦うが、モス公国内での内戦は何百年も続いている。

⑥暗黒の島マーモ

英雄戦争においてベルドが倒れた後、マーモ島は『黒衣の将軍アシュラム』『黒の導師バグナード』『闇の大僧正ショーデル』『ダークエルフの族長ルゼーブ』の4人が頂点となりマーモ評議会が結成され、それ以来、共同統治されている。都市と呼べるものは帝都ダークタウンと港湾都市サルバドの二つだけで、他はダークエルフや蛮族たちの住む『闇の森』などの魔境が広がっている。

暗黒皇帝ベルド

黒衣の将軍
アシュラム

ダークエルフの族長
ルゼーブ

MARMO.

闇の大僧正
ショーデル

黒の導師
バグナード

(ロードスへの道)

暗黒の島マーモ

破壊神カーディスの亡がらが眠る地とされる『暗黒の島マーモ』。約30数年前、この島は暗黒皇帝ベルドによって統一され、マーモ帝国が築かれた。

白き王ファーン
若い頃はベルド同様、剣の腕ではロードスで並ぶ者がいないとうたわれた神聖王国ヴァリスの国王。その偉業と人柄から、自国だけでなく他国の人間にも慕われていた。

傭兵王カシュー
砂漠の地にフレイム王国を興し長年にわたる『風の部族』と『炎の部族』の争いを平定した人物。もとは、風の部族の傭兵であったことから『傭兵王』の名で呼ばれている。

自由騎士パーン
アラニア国ザクソン村の出身で、英雄戦争が起こる頃、名のある騎士を目指して旅立つ。その英雄戦争時には、多大な働きを示し、『自由騎士』の名でロードスにおける伝説的な人物となった。

ハイエルフの少女ディードリット
『帰らずの森』に住んでいたハイエルフの少女。人間界に飛び出してパーンと知り合い、行動をともにするようになる。今では、パーンにとってかけがえのない人物である。

約15年前、暗黒の島マーモの皇帝ベルドが、突然ロードスに攻め込んできた。ゴブリンやダークエルフといった妖魔を率いるマーモ軍により、まずカノン王国が陥落。このマーモの侵攻に対し、ヴァリス国王ファーンは、アラニアやフレイム、モス公国と同盟を結んで対抗することにした。

　こうして、『魔神戦争』において『六英雄』として並び称賛されたファーンとベルドが争うことになったこの戦いは、後に『英雄戦争』と呼ばれることになる。

　戦いは最初、同盟軍が優勢に進めていたが、『灰色の魔女』カーラの陰謀により、同盟軍

（ロードスへの道）

英雄戦争

スパークたちの冒険の前に、ロードスでは二つの大きな戦いがあった。一つは40数年前の『魔神戦争』、そしてもう一つが約15年前に起こった『英雄戦争』である。

暗黒皇帝ベルド
暗黒の島マーモの皇帝。魔神戦争の頃は『赤髪の傭兵』と呼ばれていた。「人間に限らず、生きる者すべての王国を建設する」という理想のもとに『英雄戦争』を起こした。

黒衣の将軍アシュラム
ベルドがもっとも信頼していたマーモの暗黒騎士団団長。『黒衣の将軍』の名で、敵のみならず味方からも恐れられていた。ベルド亡き後は、その遺志の完遂を目指している。

内部は混乱状態に陥り、形勢は一気に逆転。マーモ軍はヴァリスの王都ロイドを脅かすまでになった。

そして、この戦争の決着は、ファーンとベルドの一騎討ちにゆだねられることになった。両者の実力は、ほぼ互角だったが、魔剣『ソウルクラッシュ』の魔力により若さを失わなかったベルドが、この一騎討ちに勝利した。

しかし、そのベルドも続いて一騎討ちを申し出たカシューとの戦いにおいて倒れ、皇帝を失ったマーモ軍は、カノンまで退却。

こうして、多くの犠牲者を出した『英雄戦争』は終結した。

ロード
トゥ
ロードス
(ロードスへの道)

エルフ族について

ロードスには、人間以外にもさまざまな種族がいる。その中でも、美しく高貴な種族として有名なエルフ族について解説しよう。

エルフ族は、人間よりも耳が長く、また非常に長命である。彼らの寿命は、千年以上であり、しかも外見は人間でいえば20～30代くらいの間で変化することがない。

このエルフ族には、「鏡の森」などに住んでいる一般的な種族の他に、ハイ・エルフ、ハーフエルフ、ダークエルフなどがいる。ハイ・エルフは、エルフ族の上位種族であり、「帰らずの森」に集落を作っている。彼らの最大の特徴は寿命がないことである。彼らは外の世界には全く無関心だが、ディードリットは、刺激のない生活を嫌って人間界に飛び出した。ハーフエルフは人間とエルフの混血であり、リーフがそれにあたる。リーフの場合は、父親がエルフである。黒い肌をもつダークエルフは、邪悪な種族として、他のエルフ族から忌み嫌われている。アシュラムの片腕ピロテースやマーモ評議会の一人「闇の森」の族長ルゼーブはダークエルフである。

ロードス世界の魔法

ロードスにおける魔法は、『神聖魔法』『古代語魔法』『精霊魔法』の3種類に分けられる。ここでは、それら3種類の魔法について、代表的な呪文を交えて解説するよ。

●神聖魔法

神聖魔法は、神の絶大な力の一部を借りて起こす魔法である。よって、その効果や威力は、術者の信仰の度合いに密接に関係してくる。たとえ信仰歴が浅くても、熱心な信者であれば、大きな力を行使することも可能なのだ。ある特定の人間は、神そのものを自分の肉体に降臨させることができるとも言われている。

この神聖魔法における代表的な魔法の一つに「癒(いや)しの呪文」がある。「癒しの呪文」は、傷を治す魔法であり、ほんのかすり傷から、信仰のあつい者ならば生死に関わる重傷まで治すことができ、その際、手当てを受ける側は、特に術者の信仰している神を信じてなくても癒しの力を受けることができる。また、手当てを受けた者は、その傷の痛みだけでなく、傷あとまでほとんど消えてなくなる。

このように、神聖魔法は、神の起こす奇跡そのものと言ってもよい。

●古代語魔法

古代語魔法はスパークたちの時代よりはるか昔、ロードスを含む世界全体を支配していた『魔法王国カストゥール』の住人たちが用いていたものである。

この魔法の原理は、言葉(呪文)によって物質を支配し、その特質を変化、増大させることにある。古代語魔法は、その王国の遺跡や主に書物などの遺物を発見し、研究することによって修得することができる。非常に地道な作業だが、スレインやアルド・ノーバもその努力によって古代語魔法を使えるようになったのだ。

本編中、アルド・ノーバが魔樹相手に使った「火炎球(ファイアボール)」は、炎の玉を爆発させることによって敵を攻撃する、かなり強力な魔法である。

●精霊魔法

精霊魔法は、人間とは異なる世界に住む精霊たちの力を借りて行う魔法である。この魔法を使いこなすには、精霊たちと交信しなければならないので、人間より精霊に近い存在であるエルフ族がその代表的な使い手として知られている。

精霊は、大きく分けて「火の精霊」「水の精霊」「風の精霊」「土の精霊」「精神の精霊」の5つに分類される。精霊たちの姿は、通常、人間の目には見えないが、その力は人間界に密接に関係している。例えば、火が燃えるのも風が吹くのも水が流れるのも、すべて精霊たちの力の成せる業なのだ。

本編中では、リーフが「火の精霊」であるサラマンダーの力を借りた精霊魔法を使っている。「火の精霊」には、他に上位精霊であるイフリートなどがいる。「火」の精霊魔法は、どちらかというと攻撃的な魔法が多く、逆に「水」の精霊魔法は補助・防御系の魔法が多い。